

## スズキ、インドでの電気自動車および車載用電池生産に関する覚書をグジャラート州と締結、 カーボンニュートラルに向けて約 1,500 億円を投資



(右写真：内閣広報室提供)

スズキ株式会社（以下、スズキ）は3月19日、インド・ニューデリーで開催された日印経済フォーラムの中で、カーボンニュートラルの実現に向けて電気自動車（BEV）及びBEV向け車載用電池の現地生産に約1,500億円（約1,044億ルピー）を投資することについて、インド・グジャラート州と覚書を締結しました。

今回のイベントは岸田首相の訪印に合わせて開催され、岸田首相やモディ首相をはじめ両国政府関係者らの列席のもと、スズキからは鈴木社長およびマルチ・スズキ・インディア社の鮎川社長が出席しました。

鈴木社長は、「これからのスズキの使命は、小型車でカーボンニュートラルを実現することです。インドへの積極的な投資を継続し、インド政府が掲げる“自立したインド (Self-reliant India)” の実現に貢献してまいります」と語りました。

### 《覚書の概要》

	グジャラート州との覚書締結者	内容	投資額	稼働時期
①	スズキモーターグジャラート社 (SMG)	BEV 生産のための生産能力増強	310 億ルピー	2025 年
②		BEV 向け車載用電池工場の建設 (SMG 隣接地)	730 億ルピー	2026 年
③	Maruti Suzuki Toyotsu India Private Limited (MSTI)	車両解体・リサイクル工場の建設	4.5 億ルピー	2025 年

以上